

2019年度 (2019年4月-2020年3月) 技術委員会活動報告

2020年4月16日

日本アルコール検知器協議会 第6回定時総会



主な内容

1. 2019年度活動報告
2. 2019年度活動決算報告
3. 今後の取り組みについて

2017年度～2020年度の活動計画

項目	活動内容	2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
①自主検定	自主検定運用																
	検定合格品有効期限																
②外部検定	検定機関の調査																
	JB10001規格の策定																
	R126WG																
	基準器評価																
	プレテスト																
	検定開始																
③アルコールガスのトレーサビリティの調査	ドライ-ウェットガスの相関評価等																
④JB20001の策定	海外規格の精査と国内運用との適合性評価																
⑤義歯安定剤に対する技術的対応	通気手法等の検討(業務委員会との連携)																

■ 作業完了、■ 作業予定

2019年度の取り組みについて

- 外部検定の受付開始/運用状況の注視
- JB20001(次検定バージョン)の策定
- アルコールガスのトレーサビリティ調査
(ドライーウェットガスの相関関係等)
- 義歯安定剤に対する技術的対応

技術委員会メンバー

登録会社15社33名

光明理化学工業株式会社
株式会社篠原計器製作所
新コスモス電機株式会社
株式会社タニタ
中央自動車工業株式会社
東海電子株式会社
株式会社東洋マーク製作所
ドレーゲルジャパン株式会社
NISSHAエフアイエス株式会社
株式会社ネモト・センサエンジニアリング
株式会社パーマンコーポレーション
株式会社パイ・アール
フィガロ技研株式会社
前野技研工業株式会社
株式会社ヤナコ計測

委員長:光明 畑
副委員長:ヤナコ計測 上西様

(会社名のみ・アイウエオ順)

2019年度活動スケジュール

2019年度技術委員会開催日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
技術委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●4/12 第五回定期総会 (東京／フクラシア八重洲) 第一回 ●6/24 大阪 (CIVI研修センター 新大阪東) 第二回 						<ul style="list-style-type: none"> ●10/24 東京 (TKP東京駅セントラルカンファレンスセンター) 第三回 			<ul style="list-style-type: none"> ●12/3 大阪 (CIVI研修センター 新大阪東) 第四回 		<ul style="list-style-type: none"> ●2/25 大阪 (CIVI研修センター 新大阪東) 第五回 	

●規格(ISO)WG

- 第一回:7/18-19NISSHAエフアイエス様
- 第二回:7/23東海電子様
- 第三回:8/26東海電子様-NISSHAエフアイエス様
- 第四回:9/19NISSHAエフアイエス様
- 第五回:10/9東海電子様-フィガロ技研様
- 第六回:10/18東海電子様-NISSHAエフアイエス様
- 第七回:10/24東海電子様

●規格(ISO)WG, ガスWG, 義歯安定剤WG

- 第八回:11/22NISSHAエフアイエス様
- 第九回:12/3NISSHAエフアイエス様

●義歯安定剤WG

- 第十回:1/17フィガロ技研様

●規格WG

- 第十一回:1/23東海電子様

2019年度の主な活動実績

1. 外部検定の運用、システムの確立
2. アルコールガスのトレーサビリティ調査
3. JB20001規格及びISO(JIS)化対応
4. J-BACに寄せられた技術的問い合わせ対応
 - ・義歯安定剤連絡会、国土交通省、運輸会社、航空事業社等

外部検定運用

- 4月～5月申請分
申請数: 6社21機種
合格数: 5社12機種
HP掲載日: 10/1
- 7月～10月申請分
申請数: なし
- 再申請分(8月)
申請数: 3社8機種
合格数: 3社4機種
HP掲載日: 10/1

- 6月申請分
申請数: 1社2機種
合格数: 1社2機種
HP掲載日: 10/17
- 申請数: 2社5機種
合格数: 2社5機種
HP掲載日: 11/19

J-BAC認定品
2019年度: 7社26機種

- 再申請分(11月)
申請数: 1社2機種
合格数: 1社2機種
HP掲載日: 12/9
- 11月申請分
申請数: 2社4機種
合格数: 1社3機種
HP掲載日: 3/3
現在: CERI様評価中
- 仕様変更申請(11月)
1社1機種
検定審査会の結果
軽微のため申請のみ

外部検定システム(検定審査会グループ化)

登録会社15社

- 光明理化学工業株式会社(除)
- 株式会社篠原計器製作所(除)
- ①新コスモス電機株式会社
- ②株式会社タニタ
- ③中央自動車工業株式会社
- 東海電子株式会社(除)
- ④株式会社東洋マーク製作所
- ①ドレーゲルジャパン株式会社
- ②NISSHAエフアイエス株式会社
- ③株式会社ネモト・センサエンジニアリング
- ④株式会社パーマンコーポレーション
- ①株式会社パイ・アール
- ②フィガロ技研株式会社
- ③前野技研工業株式会社
- ④株式会社ヤナコ計測

4グループ
申請会社以外に割り振る

⇒ 6月申請分グループ①対応済

⇒ 11月仕様変更申請
グループ②対応済

⇒ 11月申請分グループ③対応済

(会社名のみ・アイウエオ順)

外部検定システム(その他)

1. 申請書類の修正/改版
2. 試験不合格時の再申請システムの確立
3. 業務委員会・事務局との連携による
HP掲載、認定証の発行
4. 仕様変更申請の対応

アルコールガスのトレーサビリティ調査

- ドライボンベガスとシミュレーター(ウェットガス)の
相関関係をCERI様で検討
 - 各企業はトレーサビリティの取れたドライガスでの試験が可能
 - CERI様もより信頼性の高い試験に賛同
 - WG設置へ参加企業募集

参加表明メンバー

タニタ: 望月様、笠原様、池田様、金成様
東海電子: 杉本様、高木様、ブライアン様
NISSHAエフアイエス: 常深様、柳谷様
フィガロ技研: 川畑様、河口様
ヤナコ計測: 上西様(リーダー) 光明: 畑

⇒ 2019年度はWG設置及びメンバー確定で終了。

JB20001規格及びISO(JIS化)

- JB10001外部検定開始されたことを受け、次グレードの規格整備が必須。
 - 第一回技術委員会にてJB20001規格策定へ
 - WG設置へ(参加企業募集)

参加表明メンバー

タニタ: 望月様、笠原様、池田様、金成様

東海電子: 杉本様、吉田様、高木様、ブライアン様

NISSHAエフアイエス: 常深様、柳谷様

フィガロ技研: 川畑様、河口様

ヤナコ計測: 上西様 光明: 畑(リーダー)

JB20001規格及びISO(JIS化)

○規格WG

JB20001は、EN15964, EN16280をベースに2017年度上半期で作成した規格案の見直しを開始。

現在、3章用語の定義の内容を議論中

○ISOWG

- ・JCCLSよりアルコール測定器のISO化の協力依頼
- ・JCCLS内にISO化のWG立ち上げ

東海大学 宮地先生(JCCLS副委員長)を主に畑リーダー担当

- ・2019年11月開催のISO国際会議へのPWIのJ-BAC案を提出

現在、JCCLS(経産省)との方針の相違について協議中

J-BACに寄せられた技術的問い合わせ

○ 義歯安定剤連絡会

- “入れ歯安定剤に含まれるアルコールの影響”の無罪判決に対する義歯安定剤連絡会より問合せへのプレ対応及び評価器の貸し出し
- 2019年4月小林製薬様による調査結果に対する協議
- 研究費用の協力要請を断るが、試験手法、試験用機種への対応
- 義歯安定剤WGの立ち上げ(参加企業募集)

参加表明メンバー

NISSHAエフアイエス: 常深様、柳谷様

フィガロ技研: 川畑様、河口様(リーダー)

中央自動車工業: 高橋様 光明: 畑

J-BACに寄せられた技術的問い合わせ

・その他、義歯安定剤連絡会へ下記技術的回答

①臨床プロトコルの精査

(バラつきが減るような詳細な検知器使用方法などのご提案)

②臨床試験での検知器使用機種を選定

(検問での飲酒運転チェックを想定)

③鼻気測定の妥当性

(被験者の濃度差が著しく大きい。鼻気計測結果より呼気アルコール濃度を算出するのは困難より、推奨できない結論)

J-BACに寄せられた技術的問い合わせ

○ その他技術的問い合わせ対応

▪ 国土交通省

立山黒部貫光(株)様より、標高の高い(気圧の低い)環境での使用について

▪ 四国運輸局自動車技術安全部様より、アルコール測定器 各社点検・交換時期リストの依頼について

▪ 運送会社

(株)ロジテム九州様より、アルコール手洗い使用時について

▪ 朝日航洋株式会社

アルコール検知器の精度許容差 $\pm 0.03\text{mg/L}$ について

2019年度決算

活動内容	予算
CERI様への外部委託費用等	40万円
アルコールトレーサビリティ 調査用ボンベ費用	40万円
合計	80万円

2019年度予算使用なし

今後の取り組みについて

1. 外部検定の運用状況の注視
2. JB20001規格及びISO(JIS)化対応
3. アルコールガスのトレーサビリティ調査
4. 義歯安定剤連絡会対応
 - 臨床試験実施機関(現時点、長崎大学歯学部、徳島大学歯学部を想定)での試験立会(主は検知器使用方法のご説明)
 - 試験結果の考察
5. その他HP等からの技術的相談対応

2017年度～2020年度の活動計画

項目	活動内容	2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
①自主検定	自主検定運用	■	■	■													
	検定合格品有効期限	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
②外部検定	検定機関の調査	■	■														
	JB10001規格の策定	■	■	■													
	R126WG	■	■	■													
	基準器評価				■	■	■	■									
	プレテスト						■	■									
	JB10000検定運用								■	■	■	■	■	■	■	■	■
	JB10001維持審査													■	■	■	■
③規格WG活動	JB20001規格策定									■	■	■	■	■	■	■	
	ISO/TC272対応										■	■	■	■	■	■	
④ガスWG活動	Dry-WetGas相関評価/評価機関調査等									■	■	■	■	■	■	■	
⑤義歯安定剤WG活動	義歯安定剤連絡会対応									■	■	■	■	■	■	■	
⑥その他技術的対応	J-BACのHP等からの技術的相談対応									■	■	■	■	■	■	■	

■ 作業完了、■ 作業予定

まとめ

以上、2019年度はJB10001外部検定が実施され、認定までのシステムが確立できました。

2020年度は、引き続き新規認定品の維持審査の対応、JB20001/ISOの規格対応、義歯安定剤連絡会を始めとした種々の技術問合せ対応を行って参ります。

引き続き、会員企業様のご協力の程、宜しくお願い致します。

1年間ありがとうございました。

2020年度 (2020年4月-2021年3月) 技術委員会活動計画

2020年4月16日

日本アルコール検知器協議会 第6回定時総会



主な内容

1. 今後の取り組みについて
2. 2017年度～2020年度の活動計画
3. 2020年度活動スケジュール
4. 2020年度予算

協議会目的・活動趣旨

■設立の目的

本会は、**アルコール検知器の技術や品質の向上**、ならびにアルコール検知器の普及啓発によって業界の地位の向上を図る。

本会は、関係官庁、各団体との連携と会員相互の協調を通じて、アルコールの過剰摂取や短時間での大量摂取等に代表される飲酒問題の根絶に寄与することを目的とする。

本会は、営利を目的としない組織である。

■活動主旨

本会は、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) アルコール検知器の利用と活用に係る普及および啓発。
- (2) **アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。**
- (3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。
- (4) **アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。**
- (5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。
- (6) **アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。**
- (7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。
- (8) **その他、会の目的を達成するために必要な活動。**

技術委員会メンバー

登録会社15社33名

光明理化学工業株式会社
株式会社篠原計器製作所
新コスモス電機株式会社
株式会社タニタ
中央自動車工業株式会社
東海電子株式会社
株式会社東洋マーク製作所
ドレーゲルジャパン株式会社
NISSHAエフアイエス株式会社
株式会社ネモト・センサエンジニアリング
株式会社パーマンコーポレーション
株式会社パイ・アール
フィガロ技研株式会社
前野技研工業株式会社
株式会社ヤナコ計測

委員長:光明 畑
副委員長:ヤナコ計測 上西様

(会社名のみ・アイウエオ順)

今後の取り組みについて

1. 外部検定の運用状況の注視
2. JB20001規格及びISO(JIS)化対応
3. アルコールガスのトレーサビリティ調査
4. 義歯安定剤連絡会対応
 - 臨床試験実施機関(現時点、長崎大学歯学部、徳島大学歯学部を想定)での試験立会(主は検知器使用方法のご説明)
 - 試験結果の考察
5. その他HP等からの技術的相談対応

2017年度～2020年度の活動計画

項目	活動内容	2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
①自主検定	自主検定運用	■	■	■													
	検定合格品有効期限	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
②外部検定	検定機関の調査	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	JB10001規格の策定	■	■	■													
	R126WG	■	■	■													
	基準器評価				■	■	■	■									
	プレテスト							■	■								
	JB10000検定運用								■	■	■	■	■	■	■	■	■
	JB10001維持審査														■	■	■
③規格WG活動	JB20001規格策定										■	■	■	■	■	■	■
	ISO/TC272対応											■	■	■	■	■	■
④ガスWG活動	Dry-WetGas関連評価/評価機関調査等										■	■	■	■	■	■	■
⑤義歯安定剤WG活動	義歯安定剤連絡会対応										■	■	■	■	■	■	■
⑥その他技術的対応	J-BACのHP等からの技術的相談対応											■	■	■	■	■	■

■ 作業完了、■ 作業予定

2020年度活動スケジュール

2020年度技術委員会開催日(案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
技術委員会	●4/16 第六回定期総会 (東京／フクラシア八重洲) 第一回			●7/14 大阪 第二回			●10/14 東京 第三回				●2/24 大阪 第四回	

※ 別途WGを開催していきます。

2020年度予算

項目	活動内容	予算
規格WG	海外規格文書購入費	10万円
ガスWG	トレーサビリティ評価ボンベ費用	30万円
技術対応	評価備品購入費	5万円
合計		45万円

まとめ

- ・以上、2020年度はJB10001運用と継続維持が進む中、12月に自主検定品の有効期限が切れる。
- ・JB20001については規格の策定と、評価設備についてCERI様等と協議できるところまで進めたい。
- ・ガスの信頼性は、各国の評価機関等に調査等を行う。
- ・協議会の認知度が上がっているため、技術的問合せが増加してきている。対応には各企業様のご協力が必要。

つきましては、2020年度の活動計画及び予算案のご審議の程、宜しくお願い致します。